

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害用井戸設置事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における飲料水、生活用水を確保する。
事業内容	避難所となる小・中学校、公民館等に災害用井戸を設置する。また、既設の災害用井戸について、水質検査を実施する。また、災害用井戸に、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	生活用水確保のため、平成8年度から本事業を開始したが、平成24年5月19日に発生した断水事案を契機として、生活用水のほか、飲料水の確保についての重要性が高まっている。このほか、既設の災害用井戸の中には、老朽化等による故障も発生していることから、設備の保守管理についても課題となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備件数	28	30	31	件	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 老朽化した八木北小学校の井戸の修繕を実施した。また、小山小学校の井戸を電動化した。さらに別事業でおおたかの森小中学校の井戸を新たに設置したことにより、井戸数が1箇所増えて31か所となり、また、井戸の電動化及び修繕により、給水能力が向上した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,717,100	10,562,520	8,879,156			
事業費(b)(円)		5,281,500	7,069,020	6,806,376			
うち一般財源		4,881,500	4,643,520	4,606,376			
職員給与費(c)(円)		1,435,600	3,493,500	2,072,780			
人役・職員(人)		0.20	0.50	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	従前より実施している災害用井戸設置のほか、飲用可能としている既設井戸の電動ポンプ化工事を行い、効率的な生活用水及び飲料水の確保に努める。	③取り組みの課題	既存の災害用井戸の電動化については、保守点検も含めて計画的な実施が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	小山小学校の災害用井戸については、電動ポンプ化の工事を実施した。この他、既設の災害用井戸に対し、水質検査を実施した。	④今後の改善計画	既存の災害用井戸の電動化については、老朽化による修繕を伴うものに限ることに方針を変えるものとする。